

2019年6月20日

株式会社テプコシステムズ
日本アイ・ビー・エム株式会社

AI プラットフォームを企業内のオンプレミス環境に構築

- IBM Cloud Private と Watson を活用した AI アプリケーションの展開に着手

株式会社テプコシステムズ（以下、テプコシステムズ）と日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本 IBM）は、IBM Watson を活用した AI プラットフォームを構築し、その第一弾として、会議録作成支援システムを本年6月から展開します。

本 AI プラットフォームは、「IBM Cloud Private（以下、ICP）」を採用して、企業内のオンプレミス環境に、プライベート・クラウド環境を構築し、ここに AI サービスを提供する「IBM Watson」を活用した様々な AI アプリケーションを展開する AI プラットフォームとすることで、企業内の AI 活用を促進します。

昨今のエネルギー業界は、電力小売り・都市ガス市場の自由化や太陽光発電の買取期間終了を受けて、今後ますます競争が激しくなります。そのため、テプコシステムズは、AI を活用したデジタル・トランスフォーメーションのための IT 基盤をはじめ、蓄積された膨大なデータを AI で利用できる、今回のオンプレミスでの AI プラットフォームの構築は、大きな効果をもたらすと考えます。

本 AI プラットフォームの特徴としては、IBM のオープンな Kubernetes ベースのプラットフォームである ICP 上に構築されるため、オンプレミス上のクラウドネイティブ環境で Watson サービスを実行することができます。また、今後はアプリケーションの要件に合わせてハイブリッド・マルチクラウド環境で Watson サービスを実行することも可能です。定款や契約書など法規対応が必要な文書の作成支援、膨大な機器の保守マニュアルや保守履歴の自然言語検索など、オンプレミスのデータを活用した AI アプリケーションはオンプレミスのクラウドネイティブ環境に、顧客のお問い合わせ対応や顧客の声分析など迅速に開発・展開したいアプリケーションはクラウド環境にというように、それぞれをアプリケーションの要件に合わせた環境で稼働させ、これらを統合して運用管理することができます。

最初の AI アプリケーションとして導入する会議録作成支援システムは、IBM Watson の音声認識機能 (Speech to Text) を利用します。この機能は、ディープ・ラーニング を活用して音響的な特徴と言語知識から正確にテキストを書き起こす機能を提供し、会議音声からの自動議事録作成を行います。本システムの導入により、会議後の議事録作成に費やす時間を大幅に短縮し、会議での決定事項にすぐに着手することができます。AI を活用した業務の効率化のユースケースとしてグループ内に展開し、さまざまな業務プロセスへの AI 活用を推進する足がかりとなることが期待されています。

以上

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、IBM Watson ならびに Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> (US) をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

株式会社テプコシステムズ 企画部 (広報) 井上

代表 Tel: 03-6364-1112 / E-mail: public_relations-ml@ml.tepsys.co.jp

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報 安原

広報代表 Tel: 03-3808-5120 / E-mail: PRESSREL@jp.ibm.com